

【BEL Inc. 研究倫理と信頼経営に関する基本方針】

株式会社 BEL（以下「当社」）は、少人数体制による研究・技術開発を基盤としながらも、社会的責任を真摯に受け止め、信頼を第一とする事業運営を行っております。

当社の経営理念は、「利益よりも信頼を優先する」ことにあります。この方針は、単なる営利活動ではなく、研究倫理の遵守、法令への誠実な対応、納税責任の履行を通じて社会に貢献することを意味します。

■ 研究倫理への姿勢

当社は、日本学術会議「科学の健全な発展のための誠実な科学者の行動規範」および文部科学省「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に準拠し、研究不正のない透明性の高い開発・実装活動を行います。

- ・ 捏造、改ざん、盗用を行わないことは当然とし、データ管理と研究プロセスの記録を重視します。
- ・ 外部との共同研究においても、契約書・合意書を通じて研究倫理・知的財産の取り扱いに関する明確な方針を共有します。
- ・ 助成金・研究資金の申請・報告においても、事実に即した正確な記述を遵守します。

■ 法令遵守と税務への姿勢

- ・ 当社は、たとえ少数精銳の法人であっても、税務申告・経費処理を含め、法令に従った誠実な企業経営を行います。
- ・ 税理士等の支援を受ける場合であっても、代表自らが記帳・申告に積極的に関わり、透明性を確保しています。
- ・ 国・自治体からの補助金や委託事業においても、適正な執行と報告義務を遵守いたします。

■ 社会との関係性

- ・ 当社は大学・高専・研究機関との連携を重視し、教育・指導・人材育成にも積極的に貢献します。
- ・ 科学技術の社会実装におけるリスクと倫理を常に意識し、事業の目的や成果を社会に正しく伝える努力を続けます。
- ・ 研究成果を通じて、学術界・産業界・教育現場との「信頼に基づく連携」を推進してまいります。

本方針は、今後の BEL の成長とともに、柔軟に見直しながら、社会とともにある企業としての責任を果たしてまいります。

株式会社 BEL 代表取締役 兼松 秀行